

地域の歴史をデリバリー！

◇6月9日（火） 生徒による出前授業

本校では1・2年次で「総合的な探究の時間」の授業を行っています。1年次生は情報科とコラボして地域課題に取り組む個人探究を、2年次生は家庭科とコラボしてSDGsについて取り組むグループ探究を行い、「まちづくり」という共通のファクターについて学んでいます。

そのうち3年次生が昨年度取り組んできた成果を地域に還元する活動の一環として、小中学校への出前授業を行っています。今回は、2つの中学校からオファーをいただきました。

坂祝中学校では、郷土史を探究している地域研究部の生徒が「戦争の歴史について」と題し、関市と坂祝町と美濃加茂市の境に存在した陸軍秘匿飛行場に関する授業を行いました。途中、クイズを交えながら、「もし戦争が継続していたら、この地域はどうなっていたか」を考えるとともに、平和に感謝しつつ先人の労苦について考えました。その後、教室に移動して、高校生活に関する交流を行いました。

旭ヶ丘中学校では、同じく地域研究部で戦国史を研究する生徒が「関市と戦国史」をテーマに模擬授業を行いました。関高校からほど近い場所で、織田信長の「楽市楽座」で有名な楽市が行われていた歴史があります。この楽市の紹介に加え、なぜその場所で楽市が開かれたのかを考える授業を展開しました。中学生からは、「身近な地域の歴史を知れて楽しかった」などの感想をいただきました。

関高では、小学校や中学校への出前授業や地域への活動報告を行っています。本校生徒にとっては日頃の取組みの成果を発表でき、それを地域に還元することで住民の皆様は地域を深く知ることができる良い機会となっています。今後もこのような活動に取り組んでいきます。

